

室戸ジオパークだより Vol.123



■ ジオパークがつなぐ笑顔と交流 ～中国からの訪問団を迎えて～

国際交流専門員 すぎお 杉尾 ともこ 智子

アジア太平洋ジオパークネットワーク（APGN）の交流の一環として、4月8日（火）から10日（木）の3日間、中国の3つのジオパークから8人のゲストが室戸を訪れました。

到着から出発まで、訪問団の皆さんがもっとも関心を寄せていたのは、室戸高校の生徒たちの「生き生きした姿」でした。その理由は、ゲストのうち3人が、昨年9月にベトナムで開催されたAPGN国際会議に参加し、現地で生徒3人による発表を実際に見ていたからです。不慣れな英語ながらも懸命に活動を紹介する姿に感動し、今回の訪問をとっても楽しみにしていたそうです。わずか10分足らずの発表で、「室戸に行きたい」との気持ちを引き出した高校生たちは、まさに室戸ジオパークの素晴らしい広報大使ですね。

滞在中、西山台地や吉良川の町並み、室戸岬、灯台などを巡り、農家・小松さんによる西山台地の開墾の歴史を伝える紙芝居、高校生ガイドによる室戸岬ツアー、室戸市観光ガイドの会の皆さんとの交流など、地元の方々とのふれあひも満喫されました。心のこもったおもてなしに、訪問団からは「非常に有意義な訪問だった」、「次は私たちのジオパークに室戸の皆さんを迎えたい」と、温かい言葉をいただきました。ご協力いただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。



室戸ジオパークの専門員が 文部科学大臣より表彰されました

室戸ジオパークの柿崎喜宏地質専門員（高知大学客員講師）が小笠原翼前国際交流専門員（現 高知大学客員講師）、新名阿津子専門アドバイザー（高知大学准教授）、岩井雅夫学術顧問（高知大学教授）、村山雅史学術顧問（高知大学教授）と連名で、4月15日「令和7年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞 理解増進部門」を受賞しました。



▲高知大学学長（前列中央）と受賞者の5人。後列中央が柿崎専門員

受賞タイトルは「ジオパークを活用した自然科学リテラシー普及啓発」。主に市内外の児童生徒を対象とした防災教育やジオパーク学習、室戸高校の生徒の演劇活動の支援などを通して、自然科学リテラシーの普及・啓発にあたったことが評価されました。

■【お問い合わせ先】

室戸ジオパーク推進協議会事務局 ☎ 22-5161
メール info@muroto-geo.jp



YouTube



Facebook



X (旧Twitter)



Instagram

広報むろとへのご意見・ご要望をお寄せください
【総務課 総務班 ☎ (0887) 22-8114・fax (0887) 22-1120】

ご案内

健康推進事業予定表は9ページ、各種相談、電話相談は12ページ、日曜・祝日当番医のご案内は13ページに掲載しています。